



## 漁況情報

### 【5月】走水：コンブ出荷

5月に入り、走水地区のコンブ養殖漁業者が、収穫を始めました。昨年と比べると収穫が少し早く始まりました。昨年より育ちがよく、肉厚な良い品質のコンブに育ったようです。新芽はアイゴ等の食害にあいましたが、防御ネットをして対応したことから昨年よりは多くの水揚げがありました。しかし、走水地区の南に位置する、鴨居～久比里地区の養殖場の一部では、食害により、全滅してしまった漁場もあったようです。

### 【5月】全県：シラス好漁

4月に続き、全県的にシラスの好漁が継続しています。先月に比べ大型のシラスが目立つようになり、漁が途切れるのではと心配する漁業者もいますが、小型のシラスもたくさん混じっていることから漁は続くことと思われます。

なお、餌を食べた直後の腹が赤いシラスが多く、釜揚げ等の製品が白くなくなることでお客様の反応を気にする漁業者もいます。お客様におかれましては、たくさんの餌を食べてよく育ったシラスとしてご理解いただき、豊かな海の恵みをご賞味ください。



餌を食べた腹が赤いシラス

## 浜の話題

### 【5月】鴨居：サーモン養殖

5月1日、横須賀市東部漁協鴨居支所所属の漁業者、豊丸漁業がサーモン(レインボートラウト)養殖を始めてこの日、今年最後の出荷をしました。昨年末に約500gの種苗を入れ、出荷時には、約2kgに成長していました。近隣の加工工場でフィレにされたあと、横須賀、三浦市内の

量販店等で販売されました。



生簀から水揚げ



水氷で血抜き



出荷時魚体約 1.6kg

## 【5月2日】葉山：シラス、テレビ放映

5月2日、湘南漁協葉山支所所属のゆうしげ丸(矢嶋青年漁業士)のシラス漁と直売所が、テレビ東京「出沒！アド街ック天国」で紹介されました。番組では、他の地域と比べ網をひく時間が短いため活きの良いシラスが揚がる、塩だけで煮る釜揚げは塩加減が絶妙と評判、等の特徴が紹介されました。

紹介されたゆうしげ丸に限らず、神奈川のシラス漁業者が生産する、かながわブランド「湘南しらす」については、生しらすは漁獲した日に販売、釜揚げ・しらす干しは釜茹での際に塩以外の保存料や添加物を加えない等の出荷基準を、ブランド認定を受けた漁業者団体(神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会)が定めており、一定の品質が保たれています。塩加減は、漁業者ごとに工夫されていますので、様々な直売所をめぐって食べ比べてみてはいかがでしょうか。

しらす協議会・「湘南しらす」とは <https://shonan-shirasu.org/about/>

## 【5月14日】小網代：体験漁業（カキ養殖）

5月14日、日本さかな専門学校(神奈川県)の学生さんたちが、みうら漁協小網代地区でマガキ養殖の作業体験をしました。漁業者の指導を受けながら、貝殻や養殖バスケットの汚れを落としたり、成長の度合いを測定したり、重さで仕分けしたりしました。マガキの生育は順調で、6月には学校で調理実習も行うとのことです。



重さと大きさを測ります



重さで仕分け



大きくなりました

## 【5月14・15日】県：補助金説明会

県産業労働局(受託事務局 テルウェル東日本株式会社)は、漁業者を含めた中小企業者が活用できる、「生産性向上促進事業費補助金」の概要説明会を開催しました。14日は茅ヶ崎市漁協で、15日は平塚市漁協でそれぞれ開催し、組合内外のしらす船曳網漁業者や水産加工業者、定置網漁業者も参加し、説明を受けました。

参加した方からは、冷蔵庫や製氷機、定置網補修作業に使う重機等の導入で本補助事業を活用したいという要望がありました。



茅ヶ崎市漁協で開催した説明会の様子

## 【5月14・19日】藤沢、江の島片瀬：ハマグリ種苗放流

5月14日は湘南漁協藤沢支所で、5月19日は江の島片瀬漁協で、ハマグリ種苗を放流しました。両漁協共に藤沢市の支援を受けて、藤沢支所では1,112kg、江の島片瀬漁協では江の島はまぐり部会放流分と合わせて742kgのハマグリ種苗を放流しました。



湘南漁協藤沢支所と江の島片瀬漁協のハマグリ種苗放流様子

## 【5月16日】葉山：ヒラメ種苗放流

5月16日、湘南漁協葉山支所の協力の下、葉山町及び葉山町教育委員会が葉山マリーナで小学生を対象としたヒラメ種苗放流・クルージング体験を開催しました。参加した小学生は、資源管理と環境保全について学び、種苗を放流しました(写真:湘南漁協葉山支所提供)。種苗は、例年の漁協と(公財)相模湾水産振興事業団の支援のほか、(公財)神奈川県栽培漁業協会の試験が加わり、合計13,000尾を放流しました。



種苗の積み込み



種苗放流

## 【5月18日】茅ヶ崎：ハマグリ稚貝調査

5月18日、茅ヶ崎市漁協 茅ヶ崎はまぐり部会は、茅ヶ崎漁港東側でハマグリ稚貝分布調査を実施しました。当日は鋤簾を用いて調査し28～87mmのハマグリ9個の採捕がありました。放流サイズより小さい稚貝も2個(28, 31mm)確認でき、ハマグリは計測後、海に放流しました。なお、昨年同漁港西側で実施した調査では、30 mm以下の稚貝も26 個確認されており、西側の方が稚貝放流場所として適していることがわかりました。



稚貝調査の様子



採捕されたハマグリ(画像左側の9個)

## 【5月19日】東京湾小型機船底びき網漁業協議会：総会

5月19日、東京湾小型機船底びき網漁業協議会は、横浜市漁協柴支所にて、令和8年度の総会を開催しました。総会には、県水産課2名、県漁連2名、当センター3名、漁業者18名の出席があり、事業報告、計画、収支予算他の報告がありました。併せて開催した話題提供の中では、水産課から資源管理協定についての説明があり、当センター主任研究員から、漁獲対象としてのタチウオ、トラフグ及びヒラメの現状について説明があり、参加した漁業者と意見交換が行われました。



会議の様子

## 【5月19・20日】平塚：ハマグリ稚貝調査

5月19・20日、平塚市漁協は、ハマグリ稚貝分布調査を実施しました。19日は平塚漁港の西側(西浜)で調査し、28～78mmのハマグリ78個の採捕がありました。放流サイズより小さい35mm以下の稚貝も66個確認でき、計測後、海に放流しました。20日の調査では、金目川河口域を調査しましたが、砂の粒度が粗く、ハマグリ分布の確認できませんでした。今回の調査を通じて、平塚地先のハマグリ再生産(産卵して増えていること)を確認でき、西浜がハマグリ稚貝放流場所として適していることが再確認できました。



稚貝調査の様子



漁港西浜で採捕されたハマグリ

## 【5月21日】小田原：藻場再生活動

5月21日、小田原藻場再生活動組織は江之浦地先において、剣山型アオリイカ産卵礁兼藻場礁(以下、魚礁という。)を設置しました。この魚礁は、県が昨年度開始した「豊富な水産資源と多様な生物が育つ豊かな海の再生事業」に賛同いただいた(株)中山製鋼所様から寄付されたものです。

当日は、カジメの付いたロープを魚礁に取り付け、計4基を船上から投入し設置しました。この魚礁は、植食性魚類が、剣山により内部まで入りにくい物理的な食害防除効果と、アオリイカを避ける傾向がある性質を利用して、アオリイカの産卵礁としての機能だけでなく、藻場礁としての機能も試験する目的で設置しています。この魚礁の設置により、アオリイカの産卵とカジメの生育の両方が期待されます。



魚礁の組み立て作業



船上からの魚礁の投入

## 【5月25日】岩・小網代：カキ養殖の視察

5月25日、岩漁協皆木漁業士ら2名と普及員2名は、みうら小網代オイスター共同体が行うバスケットを用いたマガキ養殖について視察しました。当日は、みうら漁協の職員及び同漁協所属の漁業者数名からマガキ養殖における種苗の管理手法等について詳しく教えていただき、たいへん有意義な視察となりました。



陸上での説明



養殖場の視察

## 【5月27日】神奈川県あなご漁業者協議会：総会

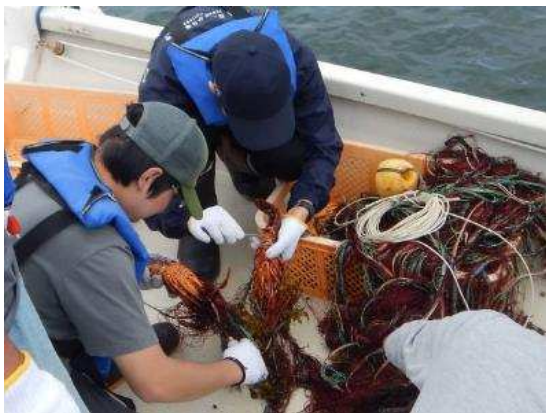
5月27日、神奈川県あなご漁業者協議会は、横浜市漁協柴支所にて、令和8年度の総会を開催しました。総会には、神奈川県漁連2名、当センター2名、漁業者7名の出席があり、事業報告、計画、収支予算他の報告がありました。併せて開催した話題提供の中で当センター主任研究員より、神奈川県におけるマアナゴ漁況についての説明があり、参加した漁業者と活発な意見交換が行われました。



当センター主任研究員からの説明

## 【5月27日】小網代：体験漁業（刺網・籠）

5月27日、日本さかな専門学校の漁業への就業を強く希望する学生さんが、みうら漁協小網代地区で漁業者の指導の下、刺網漁とタコ漁の実習をしました。刺網漁では、漁獲物を網から外したり、網を畳んだりする作業を行いました。タコ漁では、カゴ網やタコ壺の使い方を教わりました。



漁獲物を外します



からみを直しながら畳んでいきます

## おしらせ

### 【6・7・8月公募】県：中小企業生産性向上促進事業費補助金

中小企業生産性向上促進事業費補助金は、漁業者を含めた幅広い業種の方が利用できる神奈川県補助金（補助金額は一般枠にて、導入設備費の内中小企業者は1/2、小規模事業者は2/3、上限額500万円）です。対象機器を導入して、現在の事業の効率化を図りたい、或いは、新規事業を始めて売上の増加を目指したい方が活用できます。要件として、付加価値額を3年で4.5%以上増加させることや、給与支給額（個人事業主の方はご自身の給与額）を増加させること等があります。6・7・8月に公募がありますので、活用を希望される方は、公募要領等をご確認の上、補助金の問合せ窓口（事務局）にお問い合わせ下さい。

同補助金ポータルサイト <https://r8seisansei.pref.kanagawa.jp>

同補助金の問合せ窓口（事務局）045-315-3755

### 【7月】第10回海苔サミット開催

7月2日、3日の2日間、記念すべき第10回となる今回は、初めて神奈川県にて開催されます。これまで海苔サミットは、全国各地の海苔生産者が中心となり、地域や産地の垣根を越えて集い、日本の海苔産業が直面する課題や未来について議論を重ねてきました。2014年より開催している全国規模の交流の場です。今回は開催地となる横須賀市の海苔漁師の代表として、パネルディスカッションのテーマ：海の変化に応える、これからの海苔づくり、に横須賀市東部漁協走水大津支所所属の青年漁業士長塚光がパネラーとして参加します。日本の海苔養殖の未来について多角的な視点から考えます。

【会場】横浜ランドマークタワー

【主催】海苔サミット実行委員会

## 【～10月30日】県：資格取得支援事業

県水産課は、漁業就業・定着化のための資格取得支援事業を実施しています。

漁業に就業して3年以内の方を対象に、様々な資格の取得に係る費用の一部（補助率は1/3以内、補助上限額は5万円/件）を補助します。

活用を希望される方は、就業地域の漁業協同組合を通じて交付申請書類をご提出ください。なお、県での書類確認・交付決定後に、ご自身で資格の講習等にお申込みいただく流れとなりますので、受講予定日から余裕を持って必要書類をご提出いただきますようお願いいたします。

詳細情報 <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/kb2/syugyou/r6shikakusyutoku.html>

問い合わせ先 環境農政局農水産部水産課 水産企画グループ

TEL：045-210-4542



**対象者**：県内の漁業に就業して3年以内の方

**条件**：取得後、**県内で漁業を3年以上継続**すること

※ 3年以上継続できない場合は全額返還となります

### 補助対象経費

○ 次に挙げる資格の取得に係る費用の一部

① 小型船舶操縦士免許（湖川小出力限定、特殊小型船舶操縦士を除く）

② 中型自動車運転免許

③ フォークリフト運転技能講習受講料

④ 移動式クレーン運転士

⑤ 第2・3級海上特殊無線技士

⑥ 玉掛け技能講習受講料

⑦ 潜水士

※ 補助率は1/3以内、補助上限額は50,000円/件

※ 予算の範囲内での支援となります

※ 期間中であっても、予算がなくなり次第、事業を終了します。

※ 補助対象経費の詳細は県水産課のホームページを確認ください

### 交付申請期間

○ 令和8年5月21日～**令和8年10月30日**必着

※ 就業地域の漁業協同組合を通じて交付申請書類を御提出ください

